

One purpose

FOR BETTER COMMUNICATION

同志社大学通信
DOSHISHA UNIVERSITY

特集

座談会

JR 福知山線

脱線 事故を
乗り越え、未来へ

●同志社人訪問

平岡旗製造株式会社 代表取締役社長

平岡 昌高さんに聞く



CONTENTS 2007 DECEMBER No. 153

『ONE PURPOSE』は学生・卒業生のみなさんと大学とのコミュニケーションをはかることを目的として発行しています。さいななことでも結構ですので、どしどし広報課までご意見・情報をお寄せください。

大学の活動



特集

座談会

JR福知山線

脱線事故を乗り越え、未来へ 2

シンポジウムレポート 7

スポーツ健康科学部開設記念シンポジウム「世界に羽ばたくアスリート育成を目指して」

来年度就職をめざす皆さんへ 11

同志社の研究は今 13

感情・ストレス・健康研究センター 文学部心理学科教授 佐藤 豪

CAMPUS NEWS 15

「クビ・ツァンボ源流域学術登山隊」が未踏峰のクビ・カンリ登顶に成功 / IEEE Computer Society主催「Webプログラミングコンペティション」で世界1位 / 陸上競技場全天候化オープニングセレモニー / 同志社京田辺祭2007「ADAM」祭開催 / 体育会ワンダーフォーゲル部 創立50周年記念 近畿縦断 ワンダラーズ・ラリー / 生命医科学部開設記念シンポジウム「近未来ロボットが高齢化社会にできること」 / 文部科学省「国公立大学を通じた大学教育改革の支援」 / 司法試験結果 / 卒業生の新刊図書 / 本学教員執筆図書の紹介 / 30年ぶりの公式写真集刊行

在学生・教員の活躍

留学生の眼 9

文学部英文学科4年次生 倉原 紗矢香

函館キャンプを終えて 10

文化情報学部3年次生 田畑 香奈

OP COMMENTARY 19

「文化情報学部で、さあ、これから!」 文化情報学部 准教授 高橋 美都

MY PURPOSE 27

2007年新司法試験合格 ~同志社大学法科大学院未修者の挑戦~
児玉 絵美さん(2004年法学部法律学科卒業、2007年3月司法研究科修了)

卒業生の活躍



INTERVIEW ~同志社人訪問~ 20

平岡旗製造株式会社 代表取締役社長
平岡 昌高さんに聞く

MY JOB, MY LIFE ~シリーズ私と「仕事」~ 23

・島田 五十鈴さん(1996年経済学部卒業)
・福本 英之さん(2002年文学部文化学科文化史学専攻卒業)

ANNOUNCEMENT 25



表紙の情景[同志社EVE・クリスマスイルミネーション(今出川校地)]

同志社の創立記念日である11月29日の直前3日間(11月26日~28日)「同志社EVE」が開催された。各参加団体による展示会、講演会、特設ステージ上での音楽系サークルの演奏会、そして昔ながらの模擬店など、今出川校地でさまざまな催しが行われた。

また、キャンパスではクリスマスのイルミネーションを実施中。今出川校地西門付近のヒマラヤ杉は約8600個の電球で飾られ、キャンパスを幻想的に彩っている。京田辺校地でも、ラーネット記念図書館付近や同志社ローム記念館前、副業館前などでイルミネーションを実施している。12月には、学内でさまざまなクリスマス行事を予定している(p.25 ANNOUNCEMENT参照)。イエス・キリストの御降誕を祝うこの季節に、クリスマスの礼拝を共に捧げましょう。

JR福知山線 脱線事故を乗り越え、 未来へ

2005年4月25日に起こった

JR福知山線脱線事故から約2年半が経ち、

当時京田辺校地に通学していた1、2年次生は上級生となった。

事故に遭遇しながらも、来春に卒業を控え、

新たな転機を迎えようとしている学生たちがいる。

今回は4人の学生たちが、事故後、何を思い、悩み、

学生生活を送ってきたのか、

また事故の体験を乗り越えて、

これからどう生きていこうとしているのか、

それぞれの「今」と「これから」を語ってもらった。

事故について

西村 今回は事故後君たちがどのような学生生活を送り、どう困難を乗り越えてきたかあるいは乗り越えようとしているのか聞かせてもらいたいと思っています。事故当日の状況その後の経過についてはさまざまの報道がされていますが、実際に事故に遭った学生たちがその後どんな思いを持って生活をしているのかを在学生にも知ってもらいたいと思います。また、私は学生支援センター所長としてみなさんの「今」と向き合い、大学としてそれをしっかりと受けとめ、どうしておきたいと考えています。それらが今回の座談会の趣旨です。まず出席者間で共通認識を持つために、事故の体験を含めて現在までの経過について話してもらえますか。

林 事故の時は、1両目の2番前に乗っていて22時間後に助け出されました。救出を待っている間はずっと記憶があつたのですが、助け出された瞬間に意識を失ってしまいました。ついたのは2週間後でした。病院のベッドの上で目が覚めた時には、まったく身動きのとれない状態でした。とにかく何が何だかわからない。医師の説明を聞いたりしているうちに、徐々に今自分が置かれている状況が理解できるようになっていきましたが、自分自身が身した怪我、両足が切断されているという結果を受け入れるのに、しばらく時間がかかりました。少しずつ回復していき、リハビリをして自分でできることが増えていくにつれて、気持ちも前向きになっていきました。1年ほど入院し、3年次生で復学しました。



山根 実佳子さん

文学部文化学科
美学及芸術学専攻4年次生



林 浩輝さん

経済学部4年次生



コーディネーター 西村 卓

学生支援センター所長



加藤 あやさん

文学部文化学科
心理学専攻4年次生



多田 哲さん

文学部文化学科
哲学及倫理学専攻4年次生

山根 私は1両目の後方に乗っていました。事故の瞬間、車両が傾くところまでは覚えていますが、そこから救助される瞬間までの記憶がありません。病院へ運ばれましたが、頭に最も近い頸椎の骨を折り、左手を脱臼しました。入院して2週間後から少しずつリハビリを始め、自分のできることをできないことがはまりしてくるにつれ、体の不自由さを実感して辛気持ちになりました。2カ月ほど入院した後は自宅療養をし、その年の秋、10月から大学に復帰しました。

多田 僕が乗っていたのは1両目の中央です。当日の記憶はすべて残っていると思っていたのですが、1年が過ぎた頃、実は記憶が欠けている部分があることに気づきました。車両が傾いた時から助け出されるまで、自分の記憶の中ではつながっているものと思っていた。それが1年後に突然、傾いてからマンションに入っていくところの記憶がよみがえってきたのです。病院へ運ばれ、骨盤の位置が左右にずれ、歩けなくなっていたのですが、骨は折れていませんでした。骨盤が元に戻るまでの間は車いすを使いましたが、入院するほどの怪我はなく、当日から自宅療養でした。約1カ月後に大学に戻りました。

加藤 私は1両目に乗っていたのですが、座席で寝ていました。タタタとすごい音がして目が覚めたからは意識がはきりしているのですが、足を挟まれて自力では脱け出せない状態でした。4時間後くらいにやっと救出され、救急車で病院に運ばれました。でも、事故に遭ったはずなのに、テレビのニュースなどで現場を見ても、まったく実感が湧かないので

す。助け出されるまではずっと暗い車内にいましたし、自分がいた現場の車外からの状況を「切目」にしていませんでした。本当に自分がここにいたのか、信じられない気持ちがあります。半弱入院していたのですが、その間に同じ入院患者同士で新しい友だちができたりもして、当初はそれほど落ち込みこともなく、その年の秋学期から復学しました。

復学後の勉強、生活

西村 事故後、退院してから大学でのような生活を送ってきたかという点について教えてください。まず復学してからの勉強はいかがでしたか。林君は車いす生活を強いられ、通学も大変だと思うのですが。

林 復学後、大学のすぐ近くに下宿するようになったのですが、そこから教室へ行くにしても、一人で行動するところもあれば、誰かの手を借りないと無理なところもあります。大学の支援制度も利用させてもらいました。授業だけでなく、アルバイトな生活もあります。つまり、まずは周りの友だちに理解してもらったことが必要です。でも、事故前からの友だちも、事故後にできた友だちも、こういう時にいろいろ助けが必要と、自然に接しながら僕の行動を見て理解してくれたり、に思います。おかげで自分のペースで動ける日常生活をいくらかできるようになりました。トイック、風呂、掃除、洗濯、日常のことには自分でできます。ただ、ちょっと近所のコンビニに行くなど、いなと思っても、道が狭かったり人通りも多

JR 福知山線脱線事故を乗り越え、未来へ

からたりしてなかなか二人では行きついでですね。友だちと一緒にいたり、できるだけ学校の帰りに必要なものを買って帰るようになっています。

山根 私は秋学期から復学して、京田辺キャンパスの近くに下宿しました。授業についてですが春学期で履修できなかった必修科目を夏休みの間に勉強しました。春学期に履修できなかった授業をあまり3、4年次に残詰め込んだせいでとても大変でした。でも、秋には体もかなり動けるようになっていました。事故があつたからといって後に響かせたくないと思つて必死に頑張りました。

多田 僕は1カ月間自宅療養した後、歩くのはまだ困難だったので、あまり大学を休んでいるわけにもいかなないので、復学するに決まりました。でも電車に乗ることに恐怖心があり、大学の近くに下宿することにしました。先生が空き時間に補習をしてくれました。休んだのも1カ月程度なのでそれほど授業に支障が出るということはありませんでした。

加藤 私の場合は入院中に大学の先生方に本当に良くしていただきました。先生が病院まで来てくださったこともありました。病院内で勉強を進めました。もう少し入院したほうがいいと言われていたのですが、早く退院して友だちと過ごしたかったので、みんなと一緒に卒業したかったので、私も秋学期から京田辺で下宿を始めました。まだ歩くのには不自由があつて階段を上り下りできなかつたり、重い荷物が持てなかつたので



が友だちが支えてくれました。学部事務室の方も先生に事前に知らせておいてくださつたりと、周りの人たちに助けてもらいました。大学でもアルバイトでも、私は本当に恵まれていたと思います。

西村 予定していたことができなくなつたといふようなことはありませんでした。

加藤 実は高校生の頃からずっと留学したいという希望を持っていて、その費用も貯めていました。その年の夏休みにフランスに短期留学する予定で、皮肉なことに4月25日にそのチケットが届いたのですが、もろろん行けなくなりました。でも学生の時にしかできないことだと思つていました。そのために今まで頑張ってきたといふ思いがありましたから、3年次の夏には絶対行くことと決意したのです。すくく反対されましたが、毎週病院に通つて足にもまだ生傷が残つている状態でしたから無理はないのですが、私は今行かないと生行けないかもしれないと思つていました。事故に遭つてからいろいろなことを制限されるようになり、そのうえ何年間も思い続けてきたことが奪われてしまつたことがとても悔しくて、自分が家族にすくく心配をかけているといふことも、心配をかけてはいけないといふこともわかつていたのですが、反対を押し切つて行きました。今は思い切つて留学して良かったと思つています。

心のバリアフリーを

西村 事故後、大学としても被害に遭つた学生たちにはさまざまな援助、サポートをし

ていかなければならないといふ強い思いを持つてきました。今、君たちが大学に、あるいは在学生に「こつあつてほしい」と思つようないとはありますか。

林 学生といつても一人ひとり考え、価値観が違いますから、僕に対しても、そんなにしてくれなくてもいいの、と思つてくつらいつくつかない人もいます。僕にとつてはどちらが良いといふことはありません。僕自身、極力自分でできることはやろうと思つています。どうしても自分ではできないことは周りの人をお願いしています。そこで人を選ぶといふようなことはありません。

多田 事故後、いろんな人にサポートしてもらつたことには感謝していますが、僕は少し複雑な思いを持っています。聖書研究会に入つているのですが、そこにはやはりクリスチャンの学生が多く、事故後、キリスト教の立場で事故をどう見るといふことが話題になりました。事故に遭つた時、クリスチャンの友だちや知人の第二声は、あんなひどい事故で怪我をしなかつたのは神様が守ってくれたおかげだ、といふものでした。でも僕はその時にはそれが納得できなかった。そもそも守つてくれるのなら、いふ事故に遭わせたのだらう、といふ思いがありました。一方、守られなかつた人たちはどうなるのでしょうか。「守られてよかった」などと簡単に言わないでほしいと思つたのです。怪我が軽く後遺症もなかつたことが逆に僕をどれだけ苦しめたか、どうして僕は怪我をしなかつたのか、そんな罪悪感がありました。

聞いて多田君はびっくりしたのか。

多田 周りの人が自分のことを責めているわけではないというのはいくらまでにもよく言われているのであまり自分を追いつめないようにしては思っています。ただ今でも、まじあの時手や足にもっとひどい怪我を身ごうたらどうしようかと生活しているのだからと考えています。

卒業、そして

西村 さまざまなおもいをもちながら学生生活を過ごしてきて4年次生となったわけですが卒業後の進路、将来どうしていきたいかという点について就職活動の状況も含めて話してもらえますか。

林 このような障害を負ってしまった以上、当然将来のプランは変わってしまいます。まず就職活動の時期を迎えてどうしようかと考えました。社会に出て企業に入って生きていくのは厳しいのではないかと、最初は大学院に進学しようかとも考えたのですが、やっぱり少しでも早く一人立ちして自力で生活していきたい。そう思って就職活動をすることにしました。最初はハリタフリーが整っていたり、障害者雇用の実績のある企業を探したのですが、あえて障害者採用の特別枠ではなく入社しようと思っようになりました。そうしようとして就職してきつくと仕事をやっていけたら自分がハイオクになれるのではと考えたのです。また、事故で親にもすいぶん心配をかけ悲しませてしまった。自立した姿を見せたいという願返しがしたいと思っ

います。

山根 私は実家の近くの会社に内定をいただきました。この事故で親への感謝の気持ちをあらためて強くしたのです。入院中もずっと付き添ってもらい、ハリタで愚痴をこぼしては叱咤激励され、親の愛の偉大さを感じました。自分にとって親と過ごす時間が貴重に思えたので、来年からは親孝行をしながら社会生活を始めようと思っ

加藤 私の場合、見た目では事故に遭ったことがわからないので、就職試験で

事故のことを話すべきかどうか悩みました。でも、やっぱり自分の人生の中で大きな転機であったわけですし、人生観が変わった出来事でもありますから話さないわけにはいきません。それに面接の時によくアルバイトやサークルのことを聞かれるのですが、それができなくなってしまう理由を質されると事故のことを話さないといけないんです。ただそれを話すことが影響はないかという点も聞かれるんです。企業側にとってはリスクですから仕方のないことですね。実際、走ることはできないし、長い時間立っていたり、歩き続けたりするのがきついわけですから。でも、幸いにもそうしたこと

理解して受け入れてくれる会社が見つかりました。

多田 僕はまだ卒業後の進路ははっきり決まっていません。僕は高校生の時から、人間は何で生きているのか、という疑問があつて、それを考えようとして大学も哲学専攻を選ん



だのです。ですが事故をきっかけに考え方が少し変わりました。事故の時、僕は自力で脱出しましたから現場で重傷を負った人亡くなった人を自分の目で見ています。そんな中で軽い怪我ですみ命が助かったわけですから、これはもう、何で生きているのかを考える前に、まず生きるしかないと思っ

す。今はそういう自分の気持ちを整理して、どっつう方向へ進んでいくべきか考えているところなのです。

西村 最後に、これを読む人たちに何かメッセージがあればお願いします。

林 同社社内ですら、僕たち4人だけなくたくさんの学生が怪我を負いました。ましてや、亡くなられた方もいます。あの事故のことを、頭の片隅にでもいいので置いておいてもらえたらいいです。

山根 とても悲惨な事故でしたが、生き残った人たちが頑張って生きているというのを少しでも考えてくれたらと思います。

加藤 事故に遭わなければ、当たり前毎日の中で、気がなかつたことがたくさんあります。平凡で当たり前の毎日が続くことがどれだけ幸せかというところに気づくかどうかが、学生生活も人生も違ってくると思っす。これを読んで、そのことに気づいてもらっさかにはなればうれしいです。

多田 今も人身事故などで電車が止まることがよくあります。どんな事故であつても、人の命が関わっている。人が生きる、死ぬというこの重みを考えてほしいです。

西村 事故に対する分析はこれまでさまざまに行われており、原因や責任の糾明は大切なことですが、事故に遭った学生たちの体験や心に負った傷、これから生きていくうえでの思いを知ることも、悲しみや苦しみ痛みを共有してほしい。君たちの話が必ず多くの人の心を揺り動かすものと信じて、座談会を終えたいと思っす。ありがとうございました。

来春スタートするスポーツ健康科学部開設を記念したシンポジウムが10月6日、同志社大学京田辺キャンパス・恵道館で開催された。元サッカー日本代表監督の岡田武史氏による「これからのトップアスリートに求められるもの」と題した基調講演に続き、スポーツジャーナリストの生島淳氏をコーディネーターに、元サッカー日本代表の小島伸幸氏、陸上選手で3000m障害日本記録保持者の早狩実紀氏、国立スポーツ科学センターのスポーツ科学研究部長・主任研究員の平野裕二氏、北條達也・医学博士（スポーツ健康科学部教授就任予定）によるパネルディスカッションが行われた。

スポーツ健康科学部開設記念シンポジウム

世界に羽ばたく アスリート育成を目指して

スポーツ科学ができること

トレーニング科学にできること

シンポジウムは、田端信廣同志社大学副学長（スポーツ健康科学部設置準備室長）の「スポーツ健康科学部を東の筑波、早稲田と並び対抗できるような関西、西日本におけるスポーツ健康科学の二大拠点、その人材輩出の拠点にしたい」とする挨拶で開幕した。続いて基調講演のステージに立ったのは元サッカー日本代表監督で現日本サッカー協会特任理事・環境プロジェクトメンバーの岡田

武史氏。中学でサッカーを始め、高校、大学、そして日本リーグ（当時）の古河電工時代に日本代表選手としても活躍した岡田氏だが、より記憶に鮮明なのは1998年、ワールドカップフランス大会に初めて日本チームを導くなど指導者としての姿だ。

「指導者になってトレーニング科学の勉強をし、これはすごいと思った」という岡田氏だが、ある時から、トレーニング科学には現実と乖離したところがあるのではないかと感じ始めた。その疑問への一つの答えが、「トレ

ゆるスポーツにおいて最高のパフォーマンスを発揮するのは無心の時だとしてさらに脳の旧皮質と新皮質の役割の違いから、「スポーツは無意識に本能を司る旧皮質でやらなければならない。その究極がゾーンに入った状態だ」と語った。



岡田 武史氏

ニング科学は大切なものだが、それに頼りすぎてはいけない」ということだと言った。

「トレーニング科学は山に登る時の手すりがあります。途中までは迷わないためにトップアスリートを育てるには、最後の山の頂上は自分で行かないといけない。トレーニング科学を超えないといけないのです。」

トレーニング科学を超えるという意味で、岡田氏が提示したのが、「インザゾーン」の考え方。自分自身の体験を踏まえつつあら

また、コンサドレ札幌時代の黒崎将志選手の手をあげ、今は育ててではなく、気づかせる時代です。特にトップアスリートを育てようと思えば、『育てる』という意識を捨てないといけない。自分で気づかせ、自分で考えさせないと、人を変えることはできません」と話した。

最後に「もしトレーニング科学がなかったら、トップアスリートのレベルは辿り着くまでにたくさんの方が脱落してしまっ。そういう意味ではなくてはならないものですが、最



後の段階で必要なものではないのかもしれません」と結んだ岡田氏。続くハネルティスカシヨンはそのトレーニング科学には限界があるのでは、「この岡田氏の提言を受けました」。

現代のスポーツに求められるもの

トップアスリートの育成という意味で日本オリンピック委員会(JOC)の強化指定選手を対象に、国際競技向上への科学、医学、情報の支援と研究を行うスポーツ情報の中核機関が、平野裕一氏がスポーツ科学研究部長・主任研究員を務める国立スポーツ科学センター。そこでどのような支援・研究が行われているかを説明した平野氏は、「頂上へ到達するまでにたくさんの方が脱落するのを少しでも少なくするのが科学ではないかと思えます。いつ頃、何をどのよう

にトレーニングすればいいかいろいろな研究をして蓄積されてきていますから、脱落する人がだんだん少なくなる。効率的になって、より多くの人が高いところに到達できるようになる」といって「これはないでしょうか」とトレーニング科学の役割に対する考え方を示した。

一方、北條達也氏は医学の立場から、スポーツ医学とスポーツ科学の違いを、車では科学はエンジニアリング部門で医学は修理・点検部門。階段を踏み外して手すりのないところから落ちた人を元の道に戻すのがスポーツ医学」とわかりやすく説明。整形外

科、リハビリテーションの分野におけるさまざまな怪我や障害の実例と、その治療法を紹介した後、「せっかくいい素質、才能があるが、怪我や障害で脱落していく。怪我は仕方ない部分もありますがこれをやれば障害を残すといふことを、コーチの方にはしっかりと理解してやってほしい」。

特に中高生にはどこかを痛めた時にすぐ相談できる体制できれば事前に予言できる体制を整えてほしいですね」と求めた。

「現場のアスリートはどう感じているのか」という生島淳氏の問いかけに、「私たちがスポーツを始めた頃は科学よりも精神論の時代でした」と話したのは小島伸幸氏。「練習時間内は水分を摂ってはいけない、野球のピッチャーは肩が冷えるからブルに入ってはいけない」とにかくグラウンドを走っておけばいい。怪我も、怪我してしまっ方が悪いという考え方があった。二定の心拍数で二定の時間ランニングして効率よく最大限に持久力をつけるといった、科学的トレーニングをするようになったのはここ数年のような気がします」。

また、早狩実紀氏は岡田氏の提示したインザ・ゾーン」の考え方について、自身のソニー体験を語った。「3000m障害を始めたのが2年前でその時に2回目の世界選手権に出場しました。始めたばかりの種目で世界の舞台に立つので不安や心配があるだろうと言われることが多かったのですがなぜか私の中では、絶対大丈夫」という気



生島 淳氏 北條 達也氏 平野 裕一氏 早狩 実紀氏 小島 伸幸氏

持ちがありました。今年、日本記録を更新した時も、体調はそんなに良くなかったのですが、今日は出る気がする」と思いました。ゾーンに入るヒント？それがあつたら、そうするのはすけれど、まだ見つからないですね(笑)

スポーツ健康科学部開設記念のシンポジウムということで最後に北條氏が、スポーツ健康科学部の意義はトップアスリートのトレーニングについて研究していくことで、一般の健康にも寄与できるようにしていくこと。学内の他学部はもちろん学外の医療機関、企業、自治体と連携して研究、教育ができますし、今日ご出席の小島さん、早狩さんをはじめ同志社大学出身のたくさんの方々がアスリートがサポートしてくれます」と、新学部をアピール。平野氏は、大学は質の高い生活を営むために必要な専門的能力を身につけること。この学部でスポーツの専門的能力を身につけたら、その役割を理解、遂行し、さらにその専門の人たちと連携してほしい」と、新学部への期待を語った。

そして、早狩氏が、同志社大学で過ごした4年間で私はいろんなことを気づかせてもらえました。今の土台はここで作られたと思っています。新しい学部は科学的なことも含めていろんな面から吸収できる場だということなので、もっと力強いものになると思います。私も卒業生の立場で、来年の北京オリンピックに向けて利用させていただけたらうれしいです。小島氏は、「この学部の科学的なトレーニングが同志社大学体育会にフィードバックされていく頃のようにラダビーといえは同志社と言われたり、サッカーでも日本代表を出すなど、いろんなところで世界を目指せる選手が出てきてくれればと思っています」と、卒業生の立場からスポーツ健康科学部に十丸を贈り、ハネルティスカシヨンを締めくくった。

『人の数より牛の数の方が多い町だよ。』
 そんな言から私のカールトン大学での留学生生活は始まりました。その小さな町は緑と星空が大変美しい場所でしたが、交通の便が悪いために学生の多くは学期中にキャンパス内から足を踏み出すことはありませんでした。ある意味、驚くほど疎外された環境に10ヶ月間身を置いたことでカールトン生として学業や大学生活に専念でき、この大学の学生として大いに誇りを持つことができたのだと思います。

カールトンの授業内容はハバードより難しい。これを聞いた時は心底からとんでもないと心に留学したと思いました。授業が始まる前は慣れない環境、課題の量、授業中の高レベルのディスカッション、プレゼンターなどに押し潰され、日本に帰りたいと思う程に追い詰められました。しまいには教授の前で不意に大泣きし、無力さに落ち込みふと気が付けば勉強ばかりする日々が続いていました。しかし、周りの励みや助言のおかげで徐々に肩の力を抜くことができ、人並みでなくても自分がやれる限りのことをすれば良いと割り切れるようになりました。場合によっては妥協も必要、授業だけに苦しんで終わる留学では意味



カールトン大学

アメリカ・カールトン大学での留学生活から得たもの



レクリエーションで大学の仲間とサッカー(最前列 左から2番目が倉原さん)

冬になると-30にもなり、その寒さでは雪も降らず、肌が凍りつき、鼻、まつげ、髪の毛、息までもが凍ってしまっただけで、しかし、こんな環境にも楽しいことはたくさんありました。冬にはキャンパスの広場に大量の水が撒かれ、天然のスケートリンクが作られるので、気軽に満天の星を眺めながらスケートやアイスホッケーを楽しみました。また、時折降る大雪の日には、食堂のトレーをソリにして丘を下ったり、雪だるまを作ったり、雪の中に埋もれてみたり、極寒の地で大はしゃぎしました。こんな冬を味わえるのはやはりカールトン生ならではの特権だと思っています。

また、冬休み中は大学のプログラムを通してNew Orleansでボランティア活動を行いました。2005年にアメリカに上陸したHurricane Katrinaによって最も被害を受けた第9地区に滞在しました。この地域は治安も貧困も最もひどく、災害から1年経つ

た今でも一向に復興が進んでいませんでした。そこで私たちが行った作業は、民家の骨組みを残し、残りの全てを解体するものでした。ガラスの破片、有害な力ビヤやタイムル切れて垂れ下がった電線、安全からかけ離れた環境の中、全身を覆いながら作業を行いました。ここで

の活動を通じて、アメリカの貧富の差、差別、不平等な待遇、アメリカ政治の現状を目の前に、様々な事を考えるきっかけになりました。



厳しい寒さの中、友人と雪遊び

New Orleansでボランティア活動

私はこの長くて短い留学生活の中でたくさんの貴重な体験をしました。それらは決して甘いものではありませんでしたが、カールトンは優しく出迎えてくれる人々で溢れていました。私は、何事も自ら探し求めることがどれだけ大切なことであるかを学びました。留学生活で得た最も大きなものは、学びの大切さ、大変さ、楽しさを再び体験できたことです。

(文学部英文学科4年次生 倉原紗矢香)

2006年9月〜2007年5月アメリカカールトン大学へ派遣留学

が無いと考えられるようになりました。ミネソタでの生活は暖かい気候、ビーチ、デイス・トランドという華やかな西海岸とは異なり、過酷で長い冬が待っていました。真

函館キャンプを終えて

大学ホームページにある函館キャンプのページには、「参加してよかった」「大切な仲間ができた」といった参加者の声が掲載されています。これを見た時、私は気づいたのです。

それまでの私の大学生活は、日々の授業やバイトに追われている毎日。私の大学生活が、函館キャンプ参加者の声とは違い、まるで空っぽのようであると。大

学生生活が、函館キャンプ参加者の声とは違い、まるで空っぽのようであると。大

学生生活をもっともっと楽しみたい、一歩踏み出して何かに取り組みたい…。今のままの大学生活ではいけないと感じたから、私は今回の参加を決意したのだと思います。

函館キャンプは、スケジュールは決まっていますが、その内容は私たち自身が試行錯誤しながら決めていかなければなりません。学年、学部、出身も違う人たちが集

まて一から作り上げていくプログラムなのです。私達は、アウトドア班、アイスフレイク班、ディスカッション班、レクリエーション班という4つの班に分

と向き合っていたこと。キャンプ中の思い出は数えればきりがありません。

そのような中、私が今回函館キャンプに参加することで得た最大の財産は、今回のキャンプに参加したメンバーと出会えたこと、そのメ



新島渡輪海外渡航の地碑前で(3列目右から2番目が田畑さん)

【函館キャンプ】

同志社の創立者新島襄は、1864年に北海道・函館から脱国し、アメリカへ向かった。このキャンプは「創立者新島の生き方を学び、同志社を見つめ、人と人との出会いや触れ合いの中、自分自身を振り返ろう」という趣旨で行われている。例年4～5月にかけて学生支援課で参加学生を募集。今年度は2007年8月13日～18日の5泊6日で開催された。



グループごとのディスカッション

かれてプログラムを考えていきました。キャンプのスタートは、普段はまず乗車することのない寝台列車から始まりました。会話が弾んでほとんど寝ていないにもかかわらず、函館に着いてからはスケジュールがぎっしり詰まっていたので疲れを感じている暇などありませんでした。アイスフレイク班が企画したゲーム大会です。すぐにみんなと打ち解けられたこと、時には和気あいあいと、時には真剣にディスカッションをしたこと、新島渡輪海外渡航の地碑の前で皆が真剣な表情でセレモニー

ンパーと同じ時間を共有できたこと。それに尽きると言えます。一番初めに打ち合わせで顔をあわせた時は、期待も大きかったのですがそれ以上に果たしてこれからこのメンバーと函館キャンプを作り上げていくことができるのか、という不安の方が大きかったです。しかしプログラムを考えたり、函館山



立待岬へ散歩

た。それは、キャンプで出会った仲間と離れたくないという名残惜しい気持ち、本当にありがとうという皆への感謝の気持ち…。いろいろな思いが溢れ出てきたからだと思います。すべてをここで語ることはできないくらい、本当に濃い時間を素晴らしい仲間と過ごすことができたと思っています。

函館という特別な地で、普段自分の周りにいない人と関わり、話をするということによって学んだこと、刺激を受けたことがたくさんありました。そして同時に自己を振り返り、これからのこと、特に目前に迫った就職活動だけでなく、自分が将来本当にやりたいこと、そして、そのために今何をすべきかを深く考えるようになりました。新島にとって人生の転換点となった地で、私自身も人生を考えるきっかけをもらったことをとてもうれしく思います。

(文化情報学部3年次生 田畑香奈)

来年度就職をめざす皆さんへ

豊かな人生のために 充実した学生生活を

就職を取り巻く状況

2007年4月採用の就職状況は就職率が前年度に比べ0.9ポイント増の98.9%となり、昨年と同様に高い数字となっています。この98.9%という就職率は、半期（就職率）1989年度99.2%に迫るものです。これは、金融機関を中心とする企業の業績回復、および団塊世代の大量定年退職への対応による企業側の採用意欲の増加によるものです。学生の就職満足度調査においても、文系男子「大いに満足」「満足」94.7%、「やや満足」まで入れると99.4%。文系女子「大いに満足」「満足」95.7%、「やや満足」まで入れると100%。工学部「大いに満足」「満足」94.8%、「やや満足」まで入れると100%と高い満足度を示しています。（10月15日現在）

2008年4月採用（現4年次生）においても、企業の採用意欲は高く、4月下旬までの学生報告ベースでの内定者数は、前年同期と比べて約10%の増加（女性では約

20%）し、また、5月下旬までで約20%も増

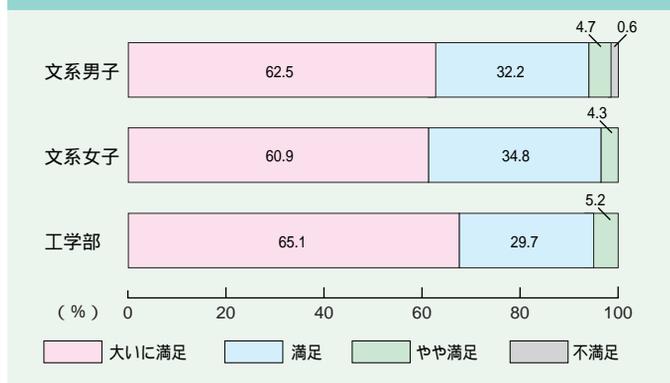
加（男性は約35%）しています。しかし、9月末現在では前年同期と比べて約5%の微増となっていることから、採用側は良い人材を早く採用したいという、厳選採用の中での高い採用意欲の表れと言えます。従って、好調な就職状況とは言え、早々と複数内定を得る学生と、内定をなかなか得ることができず就職活動が長期化する学生の2極化傾向が進んでいます。この傾向は採用側が求める高い「T」ズと応募する学生とのギャップが生じていること、応募者側の企業名による就職活動を行っていることが大きな要因となっていると言えます。

企業の求める人材

グローバルな競争の中、企業はどのような

人材を求めているのか、経済産業省は、企業人事部を対象に、職場が求める社会人基礎力についてアンケート調査を実施しました。この調査は、企業が職場で求める能力の明確化を図り、企業の人材「T」ズを把握するためのものです。その結果、企業が

就職決定先の満足度



今年度就職活動をした先輩からのメッセージ

〔2007年度 就職に関するアンケートから〕

文・英文 女、金融・一般職「活動の初期はあらゆる企業・業界にアンケートを張り巡らせ、「知る」「出会う」ことが大切だと思います。一生に一度のことですので、思い込みにとらわれることなく、自らの可能性と向き合うみてください。商 男、総合商社「少しでも早く就職活動を始めてください。時間はいくらあっても足りないと思います。たくさん企業を受けて、多くの失敗を繰り返す中で、何かしらの反省点を自分の中に見つけ、次の面接でレベルアップし、その失敗を意味のあるものにしていくください。経済 男、損害保険「自分も何とかなるだろうと、就職を甘く見ないで下さい。内定を貰う人はしっかりと準備し、努力を怠っていない人です。自分の努力が最終的にものをいうので、普段の積み重ねが重要だと思っています。商 女、信用金庫・地域限定総合職「銀行を志望するならば、店見学をお勧めします。志望動機を具体的に話すことができれば、将来の仕事のビジョンも描きやすくなります。経済 女、機械メーカー「総合職・OB訪問をお勧めします。5年後、10年後の自分、というのなかなか自分では思い描けないものですが、そのイメージを得るのに最も役立ちました。質問に答えていた中で、実際に自分が働いているイメージを膨らませ、キャリアビジョンが明確になつてきます。文メディア 男、新聞・記者「マスコミに言っても、新聞、テレビ、ラジオ、広告、出版など様々です。対策の方法も様々です。どの媒体にいきたいのかを就職活動が始まるまでにはっきりさせておく必要があると思います。工電子 男、銀行「工学部だからメーカーという先入観を持たずに、いろいろな業界・業種を見て回った方がいいと思います。私も銀行のシステム部や新聞社の技術部など、一見文系の業界のように見える会社の中にも理系出身者が活躍できるフィールドが数多く存在することを、就職活動を通じて知ることができました。政策 男、情報・SE・IT「ターン就職を考えている人は、長期間地元に残して就職活動を行なった方がいいと思います。選考の度に京都と地元を往復すると体力的にも精神的にも消耗します。法・法律 男、地方銀行「私が一番思い悩んだのは自己分析です。一度やっつて、大体自分のことが理解できたと思っ

求める、職場や地域社会の中で多様な人々と共に仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力」として、「前に踏み出す力(アグシヨーン)」、「考え抜く力(シンキング)」、「チームで働く力(チームワーク)」の3つの基礎的な能力から構成されると定義付け、その3つの能力を主体性・物事に進んで取り組む力、働きかけ力(他人に働きかけ巻き込む力)、実行力(目的を設定し確実に行動する力)、問題発見力(現状を分析し目的や課題を明らかにする力)、計画力、創造力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレンゴトロール力の12の能力要素別に区分しています。

このアンケートに回答をした約9割の企業が、新卒社員の採用プロセスや入社後の人材育成において社会人基礎力を重視し、中でも約8割の企業が、主体性、実行力を求めています。しかし、実際には、自社の若手社員に主体性、課題発見力が不足していると回答した企業も多くあり、企業側が従来に比べ即戦力としてより高いレベルの「社会人基礎力」を求めていることが分かります。

充実した学生生活を

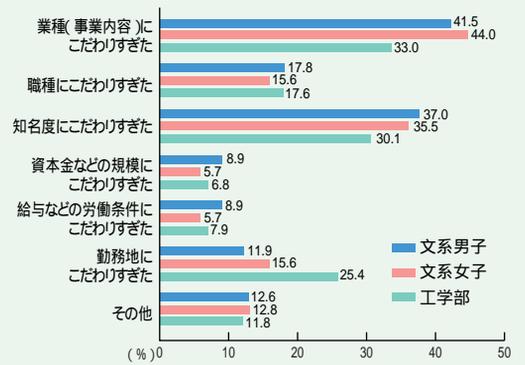
このような社会のなかで、豊かな将来を築くためには、目標を持ち、問題意識を持つチャレンジし、その経験の積み重ねや、ゼミでの勉強「など」による学問の積み上げにより、充実した学生生活を送り、自分自

身をもることが大切になります。すなわち、学生時代においてよく学びよく遊ぶなかで、「人間力」を蓄えることが重要となります。この「人間力」とは、人を思いやる心、「コミュニケーション力、社会の出来事に対する好奇心、明るさなどで構成される、その人の人柄、人間的魅力です。

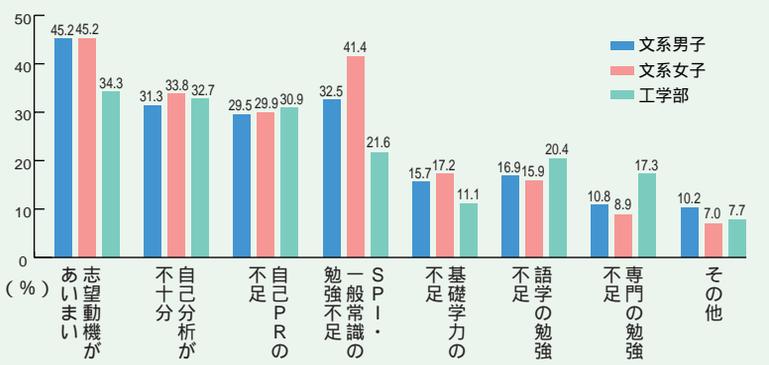
来年度就職をめざす皆さんへ

皆さんが就職に期待するのは、「収入による自立」、「社会参加による貢献」、「能力を活かした自己実現」だと思います。そのためには、まず、自分自身を知ること(自己理解)が就職活動の第一歩となります。そして自分のやりたいことがどのような職業、企業で発揮できるかを考えてください。そのためには、OB・OG訪問などで幅広く情報を収集することが大切となります。そしてある程度、業界・企業研究ができた際には企業名だけでなく、自分のやりたい職業・働きたい企業を絞り込み、業務内容をよく調べ、自分はどの会社でどのように働きたいかを話せるようにしておくことが大切です。採用担当者は面接などのやりとりから熱意、コミュニケーション能力、問題意識、行動力を見て、「一緒に仕事をしたいか」を判断するからです。皆さんにとって魅力ある企業は必ず発見できるはずです。自分を信じて、就職活動にチャレンジしてください。

応募先選択段階での反省点



面接・試験段階での反省点



ても、やめずに何度も分析してみてください。つもり」にならずに、活動中、自分自身についても「なぜ?」を自問自答してみてください。その積み重ねが面接につながると思っています。電子 男、精密機械メーカー、大学院に行く人も、進学が就職が迷っている人も、学部の人に就職活動をしたほうがいいです。面接慣れもありますが、やりたいことが見つけられ、院での研究や2年間の過ごし方が変わると思っています。工 物質化学 女、電機メーカー、大学院卒の技術系就職は容易ではありません。大学院生と比べて、専門的なことは絶対負けてしまいます。大切なことは、自分の勉強してきたことは何なのか、その会社でどのように活かせるのか、しっかり考えてアピールしてください。面接で必ず聞かれます。政策 女、食品メーカー、大切なことは、自分の目で見て、自分の肌で感じることです。HPや資料から得られる情報も大切ですが、それだけでは本当に表向きのことしかわかりません。時間・労力を惜しまずにいろいろなところに顔を出し、吸収できるものは吸収してください。絶対無駄にはなりません。経済 男、情報・SE、私が唯「就職活動でやらずに失敗したと思うことは筆記対策です。とにかくやれば結果が出る分野だけに、落とせば大変後悔しますので早めにやっておいてください。商 男、公務員、本省庁の官庁訪問は、とにかく初日が肝心です。そのためにも事前によく自分で行く場所を決め、訪問しましょう。訪問解禁日初日で事実上の内々定者を選ぶケースが多いです。文・教育 女、公務員、筆記対策は、広く浅くが大切です。また志望動機は明確なものを用意してください。あいまいなことをいっても納得してもらえません。友人や家族に協力してもらって練習し、面接に慣れることをお勧めします。法・政治 女、証券・総合職、就職活動はテストとは違います。頑張れば高得点が取れるというものではないし、最高の結果なんてなかなか得られないと思います。でも自分出来る最大限の努力をしていれば、最悪ということはないし、良い結果が得られるのではないかと、私はそう信じて就職活動をしています。文・国文 女、銀行、一般職、見栄や背伸びではなく、ありのままの自分を認めてくれる会社と出会うことが大切だと感じました。内定の時期は早い方がよい、たくさん貰う方がよいというものはありません。様々な会社や人と出会って、自分に合うところを見つけてください。

感情・ストレスのメカニズムを 解明し、心と体を健康にする プログラムの確立へ

感情・ストレス・健康研究センター



同志社大学の心理学は、基礎的なものから応用に至るまで、もともと感情の分野の研究を行ってきました。その「感情・ストレス健康研究センター」ではまず感情について研究し、そこからストレス健康へつなげていくこととしています。

感情とストレスはどのような関係があるのでしょうか。実はストレスの前段階で感情とつながっているのです。ストレスには常に感情が伴っていると言ってもよいでしょう。

ストレス社会と言われ、その蓄積が心身の健康にさまざまな影響を及ぼしている現代、感情・ストレスと心身の健康との関連性や影響を与えるプロセスを研究し、疾病予防・健康増進につなげていくこと、2005年6月、同志社大学に「感情・ストレス健康研究センター」が開設された。ここでは、喫煙・肥満・糖尿病といった生活習慣病の克服に焦点を当て、学内の枠にとどまらず、外部の医療機関や大学、研究機関との連携をはかりながら、その重要なファクターとなる感情とストレスの基礎的メカニズムを解明し、疾病予防・健康増進のプログラムを確立するための研究を進めている。「禁煙と健康」の問題を中心として、センター長の佐藤豪・文学部心理学教授に、現在取り組んでいる研究の内容について伺った。

ストレス社会と言われ、その蓄積が心身の健康にさまざまな影響を及ぼしている現代、感情・ストレスと心身の健康との関連性や影響を与えるプロセスを研究し、疾病予防・健康増進につなげていくこと、2005年6月、同志社大学に「感情・ストレス健康研究センター」が開設された。ここでは、喫煙・肥満・糖尿病といった生活習慣病の克服に焦点を当て、学内の枠にとどまらず、外部の医療機関や大学、研究機関との連携をはかりながら、その重要なファクターとなる感情とストレスの基礎的メカニズムを解明し、疾病予防・健康増進のプログラムを確立するための研究を進めている。「禁煙と健康」の問題を中心として、センター長の佐藤豪・文学部心理学教授に、現在取り組んでいる研究の内容について伺った。

感情とストレスはどのような関係があるのでしょうか。実はストレスの前段階で感情とつながっているのです。ストレスには常に感情が伴っていると言ってもよいでしょう。

感情というのは、人間の行動を決定する最も大きな要因の一つですが、知性では容易にコントロールできないものです。喫煙という行為も、良くないことだというのは頭ではわかっていても、コントロールすることができない。禁煙をしていた人がうっかり1本吸ってしまった時、理性で考えれば、わずか1本だけなので、次からまた吸わないようにすればよいのですが、そこで諦めて挫折してしまう場合が多い。これは、臨床心理学的には自分が挫折することをどこかで仕組んでいる、つまり無意識にタバコを吸うことを許してしまっているという要素があるのです。タバコを吸ってやるという気持ちがあるのに、どこかであって失敗したのだから仕方がないと決めつけ、吸うことを許可してしまっ

感情というのは、人間の行動を決定する最も大きな要因の一つですが、知性では容易にコントロールできないものです。喫煙という行為も、良くないことだというのは頭ではわかっていても、コントロールすることができない。禁煙をしていた人がうっかり1本吸ってしまった時、理性で考えれば、わずか1本だけなので、次からまた吸わないようにすればよいのですが、そこで諦めて挫折してしまう場合が多い。これは、臨床心理学的には自分が挫折することをどこかで仕組んでいる、つまり無意識にタバコを吸うことを許してしまっているという要素があるのです。タバコを吸ってやるという気持ちがあるのに、どこかであって失敗したのだから仕方がないと決めつけ、吸うことを許可してしまっ

私が研究してきたタイプA行動というのは、非常にアクティブで、短い時間に大量の仕事を行なったりする人。熱心で努力家ですから、収入も地位も高かったりします。自分が頑張ることでストレスを乗り越え、まだまだできると思いつつ、さらに上を目指して頑張ります。努力すること自体は構わないのですが、そういう人たちは克服できないストレスが出てくると、心臓疾患になりやすいのです。例えば奥さんが亡くなる、会社を定年退職しなくてはならない、そういうた

当センターでは現在、関西医科大学や医療法人同仁会(京都九条病院)などと共同で喫煙や肥満の問題など生活習慣病について研究しています。禁煙しようという意志をひっくり返してしまつような感情が働かないようにするにはどうすればよいのか。感情というきわめて不合理なものをどのようにコントロールしていくかということですね。今認知行動療法などで生活習慣病を克服する方法がありますが、理論的には理にかなっていても、感情がコントロールできていないばつまくいけません。人間にはネガティブな感情もどこかで出てきます。そういう感情をつまぐコントロールして、ムスをとっていくことが大事なので、感情とストレス健康をつまぐ橋渡ししてコントロールしている

私たちが目指しているのは、ただ単に心に關することだけではありません。ストレスによって高血圧や胃潰瘍といった体の病気が出てくることもあります。それには、実際にストレスが原因で胃潰瘍が起る場合と、ストレスを解消するために酒を飲み過ぎてしまつなど行動によって病気になるという場合があります。そこで私たちは、心理的なアプローチによつてそのような要因を軽くし、健康を維持して病気を少なくしていくことを考えているのです。



佐藤豪(文学部心理学教授)

とは自分で克服できないものですから、対処できないときに大変なストレスを感じてしまつたわけです。それによって心筋梗塞を起こして死んでしまつたことも起こりえます。ですから、そのような人たちを変えていくことが必要なのですが、難しいのは本人がそれを問題だと認識していないことです。臨床心理学的に言えば、不安がある人は誰かに助けを求めますからカウンセリングに来たりますがタイプAの人たちは問題がある

とは認識していないので意気揚々と生きています。だからこそ、そういう人たちをどうやって良い方向に導き治療していくかという、とても大きな問題なのです。胃潰瘍を治すのは医学の役割です。しかしより問題なのは、その人の性格や行動傾向なのです。胃潰瘍にかかった人は治つたとしてもまた同じような行動をとって同じようにレスト



レスを感じますから、また胃潰瘍になる。そうした再発性の胃潰瘍を治すには、本人が生き方を変えないといけません。

現在、関西医科大学の健康科学センターと共同で、禁煙、肥満、糖尿病の各外来でうまくいかない人たちの性格傾向を調べ、大学院生がそのカウンセリングを行っています。

ほうが禁煙も減量もうまくいく。それは精神的なサポートがあるからです。健康科学センターでは医師はもちろんです。健康運動指導士、管理栄養士などがいて運動面、栄養面でのケアをしているのですが、それだけではうまくいかない。なぜかというところ、知識があるだけでは自分のことをコントロールできないからです。それには、カウンセリングや認知行動療法といった治療法を施しながら心理的にサポートしていくことが必要なのです。

外来に来て禁煙をする、減量をするというのはあくまでスタートライン。医師の指示を離れて「生禁煙をする、体重をコントロールしていく」ことが重要なのです。無理なダイエットをするよりリバウンドが起これると同じように、短期間で試みても長続きしません。一生の問題として長いスパンで考えた場合、その人が自分自身で変わるうしろに限り無理なのです。そこで大切なのは案にやること、歯きりしながら我慢してやることは長続きしないのです。苦しみながらではなく楽しんで

みながら煙草がやめられる、体重が減らせるようなプログラムを考えていかなければいけません。

感情は健康阻害にも働きますが一方でポジティブシンキングによって自信が付き、良い方向へ向かわせることもできます。先ほどタイプAの人のことをお話ししましたが、自分の感情をうまく表現できないような人たちはタイプCと言います。このタイプの人には免疫機能が下がり、がんになりやすい性格を持っています。当センターでは適切に感情表現や自己主張ができるようにするにはどのようにしたらよいのか、またそのような感情が原因で免疫機能を下げないようにするにはどうすればよいのか、ということも研究しています。

感情には常に認知というものが付いてまわります。認知と感情をうまくコントロールすることによって免疫機能などをまなまな身体的疾患に関係するものを変えていくことができますと考えています。感情をうまく付き合っていく、感情をポジティブな方向に向けていく、そのためにはどうしたらよいのか、それは人間の心のメカニズムを考えていくことです。

鬱病を薬でコントロールしていくというのは医学的な考え方で、鬱になりやすい思考を生活環境や行動からコントロールして変えていくというのが心理学的な考え方です。感情をコントロールすることによって、生活習慣をもコントロールしていきける。それらをプログラム化してできるだけ広い範囲で適用できればと考えています。



CAMPUS NEWS



キャンパス
ニュース



「クビ・ツアンボ源流域学術登山隊」 未踏峰のクビ・カンリ登頂に成功

同志社大学山岳会、日本山岳会関西支部のクビ・ツアンボ源流域学術登山隊は、ヒマヤ山脈の北奥、中国チベット自治区とネパール国境の未踏峰、クビ・カンリ(6721m)に挑み、9月14日15時55分(日本時間)登頂に成功した。

登山隊のメンバーは9人で、本学OBの和田豊司さんを隊長に、本学山岳部学生のほか京都府立大学、甲南大学の学生も加わった。本学の学生は、下里直樹さん(文学部文学専攻4年次)、石川敬三さん(工学部エネルギー機械工学科3年次)、小谷紘平さん(工学部情報システムデザイン学科2年次)、小林博史さん(政策学部1年次)の4人。



クビ・カンリ登頂



ベースキャンプ到着

頂前に、浮石が崩れてきて足をはさまれ、足の小指を骨折してしまいました。こんなに苦しい登山は初めてだったが、登頂できた時には感動して思わず涙がはれた」と言う。下里さんは、「登山隊では長期間仲間と生活を共にするので、いろいろな意味で人との付き合い方を学べた。物事の進め方や交渉の仕方、メンバーの意見をまとめる方法など組織的な勉強にもなった」と振り返る。11月4日(日)には、からすま京都ホテルで報告会が開催された。

その間には学術調査として、地球温暖化の影響と氷河後退の調査、標高と認知処理の心理学的調査のほか、日本人として初めてネパールからチベットに密入国した仏教僧の河口慧海の辿ったルートなども調査した。

帰国後、インタビューに答えてくれたのは、下里さん、小谷さん、小林さんの3人。「8000m級の山々に囲まれたヒマヤは、登山者にとって憧れの地。個人で挑戦するのはとても無理なので、このチャンスを見逃したらもう二度と経験できないと思った」と小林さん。小谷さんは、「登

電気、電子情報分野における世界最大の学会であるIEEEのComputer Societyが主催したWebプログラムコンテスト「WinCHC61」で、本学工学部情報システムデザイン学科のチームが優勝した。

参加メンバーは、工学部情報システムデザイン学科の佐藤健哉准教授を指導者に、川本絵菜さん(4年次)、加藤隆志さん(4年次)、綾木良太さん(3年次)、坂本陽さん(2年次)のいずれも情報システムデザイン

IEEE Computer Society主催 「Webプログラムコンテスト」 工学部のチームが世界1位



左から坂本陽さん、加藤隆志さん、川本絵菜さん、綾木良太さん

学科の学生たち。世界27カ国から56大学約120チームが参加し、見事第1位に選ばれた。今年度のコンペはコンピュータの歴史における「影の英雄」をテーマにWebページを作成するというもので、同大チームは旧国鉄・JRグループの座席指定券などの予約・発券のコンピュータシステムであるMARSを取り上げた。

リーダーの川本さんは、「世の中にはたくさん人の技術が溢れているにも関わらず、一般の人が知っている技術はほんの二部に過ぎません。テーマ選びには苦労しましたが、日本は世界で類をみないハードで技術の発展を遂げてきた誇り高い国なので、それらの技術を世界に伝える役目があると考え、MARSを取り上げました」と言う。良い経験になればという気持ちで取り組み始めたが、いつしかメンバーの面持ちが真剣になり、どのように工夫すればレイアウトが綺麗に見えるか、閲覧者の興味をひくような内容になるか等、メンバーで何度も話し合ったという。川本さんは、「思い描いたウェブデザインを実現するのは想像以上に困難で、思わぬ事態に何度も頭を悩まされました。しかし、世界中の審査員の方々から高く評価していただき、本当に嬉しく感謝の気持ちでいっぱいです。ただ、作品に関してはまだまだ改善の余地があり、Webサイトを観てくださった方からも意見をいただいたので、次の大会に出場する後輩たちに生かしてもらえれば」と喜びを語った。

応募作品
http://w3.doshisha.ac.jp/chc61

陸上競技場全大候化 オープニングセレモニー

京田辺校地において陸上競技場の全大候化工事が完成し、10月24日(水)にオープニングセレモニーを開催した。今回の改修によって走路は全面ウレタン舗装となり、トラックの周回には傾斜走路や外周走路を設けた。また、フィールド内には複数の選手が二斉に幅跳びの練習ができるほどの大型砂場、周田の土手の斜面を利用した砲丸投げの練習場なども



設け、独自の工夫を凝らした競技場となった。さらには走路の随所には、フォースプリートなどの計測機器設置が可能な予備機能を持たせ、研究の場としての整備も行った(財)

日本陸上競技連盟が定める第3種公認競技場に認定され、来春開設のスポーツ健康科学部の教育・研究活動、また陸上部の課外活動などに充分対応できる競技場となった。今回の工事に合わせて約100席の観覧スタンドも完成、競技場の一般開放も検討している。

(京田辺校地施設課)

同志社京田辺祭2007 "ADAM"祭開催



11月3、4日、今年で3回目となる同志社京田辺祭2007(愛称ADAM祭)もんなつながら「ADAMでつながる」を開催し、2万人を超える人々が京田辺校地を訪れた。

祭では、学生・一般市民による模擬店(28店舗)、フリーマーケット(12ブース)、ステージ(公募16団体)をはじめ、音楽ライブ、お笑いライブ、スポーツツエスティブルなどさまざまな企画が行われた。期間中は大いに賑わい、人々の笑顔が溢れた。また、日本エナジーというキャッチフレーズのもと、リユース食器の導入や国内産間伐材を利用した割り箸の導入など、環境に配慮した取り組みを実施した。閉会式では実行委員会がオリジナルの踊りを披露し、多くの人々の思い出に残る2日間となった。

同志社京田辺祭は、学生・教職員・市民が体となって共に楽しみ、ふれあい、交流場を創出し、大学と地域が連携した新しいコミュニティの形成をめざしてきた。今後も一層地域に開かれ、愛される「祭」、環境に配慮した「祭」を開催したい。

(京田辺地域連携推進室)

ワンダーフォーゲル部 創立50周年記念 近畿縦断 ワンダラーズ・ラリー

今年創立50周年を迎えた同志社大学ワンダーフォーゲル部は、OBと現役部員が参加できるイベントとして近畿地方縦断を行った。縦走、里歩き、沢登り、藪こぎ、川下り、自転車・トレイルランニング、ナイトハイク...等、それを、近畿縦断ワンダラーズ・ラリーと名付け、昨年10月21日に福井県小浜をスタートし、約10ヶ月半かけて、日帰りあるいは1泊2日で計20回ほど、9月2日に終



着地である和歌山県潮岬へ到達した。現役部員の中には、今年の夏合宿で行った北海道からラリーのゴールである潮岬まで行けたら面白いのではないかと考える者が現れ、3名が2週間かけて京都まで帰ってくることに成功し、小浜での出発式に合流した。

日本の豊かな自然と歴史の奥深さを感じながら、300キロ以上に及ぶ長い道のりを踏破した。総参加人数127名、延べ参加人数は452人に及んだ。50年の歴史の確認だけに終わるのではなく、新たな活動の可能性を見いだし、更なる部の発展につながることを確信できるものであった。

(工学部機械システム工学科3年次生 岡田健佑)

「近未来ロボットが
高齢化社会にできること」
生命医科学部開設
記念シンポジウム開催

生命医科学からみたガンダム論

来賓 同志社大学京田辺キャンパスに誕生する生命医科学部の開設を記念したシンポジウムが10月7日、毎日新聞オーバルホールで開催された。アヌ・機動戦士ガンダムをプロデュースした榎サンライズの堀口滋氏による、ガンダムに視るロボットの未来」と題した基調講演に続き、毎日新聞論説副委員長の西木正氏をコーディネーターとして、堀口氏のほか、佐野倫生・静岡市立静岡病院整形外科部長 石黒周・(財)大阪市都市型産業振興センターが、トラボラトリリーター、横川隆一・同志社大学教授(生命医科学部教授就任予定)によるパネルディスカッションが行われた。

開会に先立ち、主催者として渡辺好章・同志社大学教授(生命医科学部長就任予定)が、生命医科学とガンダム、奇妙な取り合わせのように思われるかもしれないが、工学技術の延長に医療技術があるという現状を考えると、ガンダムの世界は非常に示唆に富んでいると言えます。その中にアニメCGといった世界は、未来の先取り指向がきわめて強い分野です。そこでは人間がこうありたいという世界が提示されています。生命医科学部では、今後そうだった世界と現実との狭間を埋めていく努力を重ねていきた

いと考えています」と挨拶。

続く基調講演では、テレビ「機動戦士ガンダムSEED」で企画を、CGシネマトリオス集、ガンダムイボルブ」でプロデューサーを務めた堀口滋氏が、「機動戦士ガンダム」の映像作品としての世界観について語り、プロデューサー、デザイナー、監督のもとでガンダムのデザインがどのようなプロセスを経て作られていくのかを中心に解説した。壇上のスクリーンには、ガンダム作品のさまざまなデザイン画などが映し出され、あまり目にするこ



堀口 滋氏

境下での手術にロボット技術が生かされることも考えられると話した。また、次世代ロボット産

い貴重な資料の数々に、ガンダムファンらしい若い参加者たちは食い入るように見入った。「医療現場では今ロボット技術がどこまで進歩しているのか、超高齢化を迎える日本社会ではロボットにどんなことができるのか、また、どんなことが期待されているのかということを考えたい」という西木正氏の発言で始まったパネルディスカッションは、各パネリストからそれぞれロボットにどのような関わっているのか説明があった。まず、現在のロボット技術がどこまで進んでいるのかについて横



川隆教授が、食事補助ロボット、歩行支援ロボット、人間の位置や動作をセンサーで認識して動いたり、血圧や脈拍など健康状態を音声認識で教えるロボットなど、同志社大学工学部におけるロボット技術研究の実例をビデオで紹介した。

佐野倫生氏は医師の立場から、人間では

出せない大きな力やゆくりとしたサポートが必要なりハリの介助、正確な測定や再現性が必要な手術の補助、単純な作業の繰り返しや大量の処理などで、実際に機械が人間の代わりを担っている医療現場の現状を報告し、「将来的には、天才と言われる外科医の手術の再現、無重力空間など特殊な環

業の創出に取り組み石黒周氏は、ロボットの研究グループの活動を説明し、「阪神淡路大震災の犠牲者も、救出が早ければ、2割は助かっていたかもしれない」と、災害救助ロボットの可能性に言及。堀口氏は、脳波で無人機をコントロールするという技術がガンダムにはある。現実社会に置き換えれば、思っ

だけであることが出来るのもそう遠い話ではないのでは」と語った。

一方自身が親の介護に携わった経験から石黒氏が介護ロボットについて、「機械がどこまで人間の領域に踏み込んで力を発揮するのが、甘やかされると、逆に人間の力は弱まってしまふ。重要なのは、機械が人間の力を引き出すことだ」と指摘すると、横川教授も「一部分だけを機械がサポートすることで人間が持っている潜在能力を引き出すことができる。しかしそれには従来の工学の技術だけでは不十分。生理機能を含めた教育、研究が必要になってくる。生命医科学部では人間が持っている潜在能力を機械が引き出すところに重点を置く」とした。

最後に、これから生命医科学部で学ぶ人たちに對して各パネリストが、「宇宙船に『グール号の冒険』の主人公のように(堀口氏)『新しい流れを起してくれることを期待している』(佐野氏)『誰にどんな価値を生むのか?』という課題を解決するのが(西木氏)とをきちんで見据えたうえで、学んでほしい(石黒氏)と提言。横川教授は、「工学的な機能だけを求めるのではなく、人間が本来持っている能力を理解したうえで設計できる人材を育成し、社会に送り出したい」と語り、西木氏が、今日出席した研究者の経験に若い人たちの知恵やアイデア、一般市民の意見を生かしていけば、ロボット技術を活用する幅がもっと広がっていくのではないかと、そういう意味で生命医科学部にそのパイオニアとしての役割を期待したい」と締めくくった。

文部科学省 「国公立大学を通じた 大学教育改革の支援」

同志社大学ではさまざまな教育改革の取り組みが進行中で、文部科学省の大学教育改革支援事業において優れた取り組みとして採択されており、本学のプログラム採択数は全国でもトップクラスです。2007年度に新規に採択された取り組みは次のとおりです。

プログラム名	採択テーマ
特色ある大学教育支援プログラム	学生と教員の幸せな出会いをめざす導入教育
現代的教育ニーズ取組支援プログラム	アクションプラン主導型発見的キャリア教育
社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム	ソーシャル・イノベーション型再チャレンジ支援教育プログラム
新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム	地域コミュニティによる学生支援方策
大学院教育改革支援プログラム	・研究センター連携型オープンフィールド教育 ・国際的「理論・実践循環型」教育システム ・電力・通信インフラ研究者・技術者育成課程
専門職大学院等教育推進プログラム	全国法曹キャリア支援プラットフォーム 13大学の共同取組。申請大学は明治大学。

司法試験結果

平成19年新司法試験合格者数

法科大学院名	受験者数	既修		合格者数	既修	
		未修	未修		未修	
東京大学	304	225	79	178	140	38
慶應義塾大学	271	203	68	173	132	41
中央大学	292	236	56	153	134	19
京都大学	211	170	41	135	118	17
早稲田大学	223	17	206	115	11	104
明治大学	200	145	55	80	61	19
立命館大学	169	151	18	62	59	3
一橋大学	96	73	23	61	44	17
同志社大学	161	124	37	57	40	17
北海道大学	98	61	37	48	30	18

平成19年度旧司法試験最終合格者数

大学名	合格者数
東京大学	45
早稲田大学	35
京都大学	25
中央大学	20
慶應義塾大学	16
一橋大学	14
北海道大学	9
大阪大学	9
同志社大学	8
明治大学	8
名古屋大学	8

卒業生の新刊図書（価格は税別）

- 『新島襄 中山道の旅』 山田興司さん（1967年工学研究科修了） 大塚巧藝新社 1800円
- 『都道府県改革論―政府規模の実証研究―』 野田遊さん（2007年総合政策学科学研究科修了） 晃洋書房 3000円
- 『社長の値打ち 「難しい時代」にどうあるべきか』 長田貴仁さん（1978年文学部卒業） 光文社 7600円
- 『Value Seeds 100 ワーキングマザーが見つけたバリエーションのタネ』 前田めぐるさん（1985年文学部卒業） カナリア書房 12000円

本学教員執筆図書を紹介

総合情報センター調べ（価格は税別）

- 総説 キリスト教史③ 水谷誠 他 執筆 日本キリスト教団出版局 4000円
- ネットワーク市場における技術と競争のインテグレーション 瀬領真悟 他 執筆 有斐閣 6000円
- 複式簿記 瀧田輝己 編著 田口聡志、松本敬史 他 執筆 白桃書房 4500円
- 理工系基礎レクチャー 物理化学 塩井章久 著 化学同人 26000円
- はじめての化学工学 近藤和生 他 執筆 丸善 28000円
- 知的財産法演習ノート 井関涼子 他 執筆 弘文堂 26000円
- フェミニスト・ポリティクスの新展開 三山雅子 他 執筆 明石書店 38000円
- 現代の金融機関と法 川口恭弘 著 中央経済社 32000円
- 刑事法入門 大谷實 著 有斐閣 21000円
- コボレット・ガバナンスの国際比較 今西宏次 他 執筆 税務経理協会 24000円
- コンピュータ社会における「生命倫理と法」 川和功子 他 執筆 レジスナネットワークス 35000円

30年ぶりの公式写真集、この秋、いよいよ刊行！

同志社創立130周年を記念して、写真集「鼓動 Doshisha Album 130th Anniversary」(発行同志社大学、編集同志社創立130周年記念写真集編集委員会)が刊行された。四季折々のキャンパスの美しい姿はもとより、ニューイングランドの新島ゆかりの地から、4年に及ぶ外周工事を終え再び姿を現したクラーク記念館まで、同志社大学の「今」を切り取る写真集となっている。公式写真集としては、『同志社創立100周年』に刊行した『同志社100年』以来、実に30年ぶりの刊行となった。

仕様・体裁は、A4判180ページのオールカラー印刷。デラックス版（系かがり上製本、本クロス装、箔押し題字、カバー付で、税込み価格5000円）と普及版（無線綴じ並製本、カバー付で、税込み価格3000円）の2種類からなっている。販売にあたっては、一般書店でも取り扱っているが、キャンパス内なら定価の1割引で購入できる。電話による地方発送の注文送料実費負担も可能。

お問い合わせは、㈱同志社エントラプライズまで（Tel.075-251-3027）。キャンパス内では、今出川・京田辺両校地の同志社生協書籍部でも同条件で取り扱っている。（社史資料センター）



普及版

文化情報学部で、やあ、これから！

2003年の暮、今出川のハリス理化学館で採用面接を受けた私は、チャペルや重厚な明治建築を照らす幻想的なツリーの光に息を呑みながら、伝統と躍動感がともに備わる同志社大学入リットを象徴的に受け止めたように思います。その頃は文化情報学部設置構想がいよいよ具体化し、レソンの棟が並ぶ丘の上の京田辺キャンパスには文化情報学部の本拠となる夢告館が建設中でした。芸術系の小じんまりした大学出身で日本東洋音楽史という地味な領域で研究を続けてきた私は、総合大学の空気にはじめて接し、不思議の国にやってきました初老のアリス？のような感慨を今も味わい続けています。

日頃から多種多様な専門領域で活躍している教員と、骨身を惜しまず学部を支えている職員の方々、そして個人的な大勢の学生の皆さんと長時間を共にすることに、学部の色や形が整っていく状況を感じています。「ご父母の方々や教員が懇談する場が用意されていることや、法人内諸学校やご縁の深い高校との結びつきも、校風の醸

成に大きく寄与しているのだと思います。

ところで、文化情報学部は数理統計をベースとするデータサイエンスの技で、人の営みのあらゆる局面の「文化」を対象とする学問を実践する場です。個人で担当する科目よりも多数の共同授業が用意されており、カリキュラムは箱根細工やルビックキューブのように構築されています。2年次と3年次の学生には、主体的に学ぶ「プロジェクト」が用意され、40名強の学生に対して4名の異なる専門の教員がついて、濃密な指導がなされます。パイオニアとして教員と苦楽を共にしてきた期生たちは2007年度には3年次に進み卒業研究に入ろうとしています。卒業研究の報告は、「ロキアム」という科目の中で行われ、3年生がコメントや司会をするクラスで、1年生も共に学びます。理系と文系の教員が2人でクラスを束ねますが、主役は学生で、同級生としての横のつながりや、学年を縦断するつながりによって、学部らしさや個々のクラスのテイストが織りなされていくことになりました。

実験・演習系の科目もたくさん配置されていますが、全教員が関わるステップが用意されており、私の属する「チーム日本語」

の他、英語やモノを対象にする実験などにおいても、学生たちはさまざまにソフトウェアやツールを使いこなしてプレゼンテーションをこなす力をつけています。マンツーマンに近い少人数教育が当然だった芸術系出身者から見ても、なんとも驚沢な布陣に思えます。

一方、全学のプロジェクト科目が2006年度に立ち上げられた時、京都暮らしの音と映像」という科目に関わりました。映画の都、京都の本素で監督やカメラや音声スタッフとして活躍されてきたNPOの方々の実践的授業のお世話をしながら、さまざまな学部や学年の皆さんが映像作品作りをする場に立ち会えたことは大きな喜びでした。

音楽を「感性メディア」として扱うことも着任後に意識し始め、共同で授業を担当する先生方から多くを学びました。「真の意味での文化情報学部教員」への道はま

だ遠く文理融合という理念と自分の地力とのギャップに嘆息することも多いですが、今後もう少し総合的な深い素養を身につけなくてはと思っています。

Mito Takahashi

高橋 美都

文化情報学部 准教授

大阪市出身。東京芸術大学大学院音楽研究科修士課程修了。青山学院大学・武蔵野音楽大学・東京音楽大学・武蔵野女子大学・名城大学などで日本音楽史などの非常勤講師。東京国立文化財研究所芸能部調査員を経て、2000年から京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター助教授。2005年4月より本学文化情報学部勤務。



平岡昌高さんに聞く

平岡旗製造株式会社 代表取締役社長



インタビュー
栗林 恵里菜さん
文学部文化学科国文学専攻4年次生

栗林 始めに平岡さんの学生時代の思い出からお聞かせいただけますか。

平岡 私は中学から大学まで同志社育ちです。どちらかと言いますと、大学時代より中学、高校の頃の方が思い出は多いのですが、中学3年の時に、応援弁士が良かったこともあって選挙に当選してしまひ(笑)、生徒会長を務めました。高校では生徒会長ではありませんでしたが生徒会活動に取り組みましたね
栗林 大学ではどのような活動をされたのですか。

平岡 大学では1年の秋から、友人に誘われてゴルフ同好会に入りました。ここでは良い仲間がたくさんできて楽しかったですね。今でも親しくしています。その頃、同志社のゴルフ同好会は結構強かったです。もちろん体育会のゴルフ部は別ありましたが、同好会にも野球部出身者とか運動神経の良い人たちがいて、他大学の同好会やゴルフ部の対抗戦でも数多く勝っていました。私は試合に出場というよりも、マネージャー役で会計を担当していました。また、大学全体の雰囲気を感じてしまいますと、当時は大学紛争で学内封鎖などが始まる直前で、デモや大きな立て看板があり、休講になることもありましたが、また落ち着いた学生生活が送れた時代だったように思います。私は経済学部



平岡 昌高さん
【1969年経済学部卒業】

1946年生まれ、京都市出身。平岡旗製造株式会社代表取締役社長。1887(明治20)年創業、国旗、校旗、団旗、会旗のほか、舞台諸幕、全国各地の祭り懸装品、カップ、トロフィー、ハンカチなどを製造販売する老舗(1997年に京都府知事から「京の老舗表彰」を受賞)の4代目。弟の克英さん(代表取締役専務)、長男の成介さん、ともに同志社出身。

で黒松麻先生のゼミだったのですが先生が西陣の地場産業の研究をされていたものからその調査や集計などのお手伝いをするようになってきました。

栗林 最初から会社を継がれることは決まっていたのでしょうか。

平岡 青春時代ですから多少の反発はしましたが、後から振り返ってみると、そのような経験を数かして、その上に乗っていたように思います。大学を卒業してからは、大阪の船場にある繊維商社に入社しました。この会社は当時としてはなかなか先進的な会社で2年間働かせてもらいました。修業というところがありますが、倉庫から商品管理、営業と、商売の「入口」まで教えていただいたように思います。



写真左端:営業部 平岡 成介さん(1997年商卒) 左から2番目:代表取締役専務 平岡 克英さん(1972年経済卒)

栗林 こちらの会社に入られてからはどのようなことからターゲットされたのですか

平岡 当社の基本は、単品受注生産です。学校の旗、優勝旗、幟祭りの懸装品、そういったものをすべてを単品で注文を受けて生産するのが主体です。都であつた京都には他の都市にはない多くの優れた伝統的な技があります。お客様の要望に最適な職先を選び、職人さんと共に作り上げます。ですから

会社に入ります何をしたかと言いますと、そういう製造現場である職先回りです。当

時の職人さんというのは個性の強い方が少なくありませんでしたから、まず自分を信頼してもらつたことから始めないといけません。そうした信頼関係ができたから、今度自分が注文を受けてお願いする時もスムーズに進められるのです。とにかく納期を守り、より質の良いものを作り上げるには、職人さんとの相

性を良くしておくことは非常に重要なのです。

栗林 私は、2年次の時に京都友禅染めの職人さんと一緒に江戸時代の着物の復元をしました。小袖の紋が現在とは2、3センチの大きさなのですが、江戸時代だと十数センチの大きさになります。それを復元したいと友禅染めの職人さんのところへお願いに行つたら、職人気質と言いますが、最初は全然取り合ってもらえなくて苦労しました。ですから職人さんとの信頼関係が大切といつお話しはすべくよくわかります。

平岡 意外にそういう当たりなきつい対応をする人は優しいのですよ。最初はあれこれと言いますが、最終的に理解してもらえ、期待以上の仕事を必ずきちんとやってくれます。

栗林 本当にその通りですね。

平岡 ですからこの仕事の基本は、まず職人さんとコミュニケーションを取り、その技術をきちんと理解し把握しておくことなのです。例えば、同じ職種で職人さんでも得手不得手がありますから、お客様が求められているもののサイズ、内容に応じてどの職人さんに発注したら良いのか、そのあたりを理解しておかないと営業は務まりません。それにもう一つ、我々の業種というのはお客様より私たちの方が知識やノウハウが多い。洋服などの場合は、エンドユーザーの方がよくご存知だったりしますが、こと旗などになると圧倒的に私たちの方が豊富な知識を持っています。お客様の要望を的確に最も良い形で実現しようとするならば、当然いろいろなことをわか

ついでなければなりませんし、納得していただけるだけの説得力も必要です。お客様に「満足いただき、信頼を得ることが何よりも大切なのです。次の仕事を任せていただけるかどうかにも関わってきますからね。また私たちの商品は需要が限られています。一度作ると寿命の長い商品が多いものですから、信用がじわじわと効いてくるのです。ご満足いただけるものを納めていければ、必ず良い方向へ向くはずですよ。逆にどこかで横着なことをしてしまいますと、いずれはそれがマイナスの影響として現れるでしょう。今でこそインターネットなどですぐに情報は伝わりますが、そうでない時代は評判が大切でしたから。

栗林 ところで、旗の種類にはどんなものがあるのですか。

平岡 まず国旗から始まって市町村学校のマークのつた旗、同志社大学で言いますと、正門などに掲げられる旗、あの旗は当社で作らせていただいています。他には応援団の旗、クラブの旗などもありますね。夏の甲子園、母校の名前が入ったり、ボンをたなひかせ、彼らが胸を張って入場行進で持っている各地区の優勝旗も全て納めています。ライオンズクラブやロータリークラブの国際公認店になっており、クラブ旗やバナーもあります。

栗林 京都に同業の会社は多いので、いろいろな「旗屋」といっつのは、現在、旗商組合に入っているのが4軒です。私の父が理事長をしていただ頃は20軒ほどあつたのですが、今はこれだけに減っています。全国では組合として活動しているのが、東京、名古屋、大阪、それぞれ

平岡 昌高さんに聞く

に文化圏があり、技術者が残っているところですね。

栗林 友禅染めを体験した時にも思ったのですが、このような伝統工芸を残していくにはどうすれば良いのでしょうか。

平岡 京都伝統産業の青年部の方たちともお話しをする機会があるのですが皆さんそれぞれに悩みがあるようです。伝統に甘んずることなく新しい発想を生み出そうと考へ試行錯誤されています。やはり、今のものをベ

ースにして少しずつ改革を進め、常に新しい方向を探していかないと衰退してしまつてしまいます。何より、技を手にすることは素晴らしいことなのですが職人になつていく若人たちが少なくなつていきます。今までの技術をすつと残していけるかどうか不安があります。当社の商品で言いますと、刺



編の職人さんは京都でも大変少なくなりました。今では多くの京都の伝統産業において日本より中国の方に上手な職人さんがいます。日本から技術指導をして、こちらのトップレベルの技術を持つ職人さんになっているのです。現実問題としてあなたの方のような若い人たちが職人になろうという人がどれだけいるかと言つて、一生そこにかけてやろうという人はあまりいないでしょう。

栗林 そうですね。私は大学4年間で京都

に貢献したいというところを軸に活動をしてきたのですが、職業としてやっていくには相当の覚悟が必要だと思えます。職人さんが少なくなつていくというお話しですが、商品に昔と比べて変わってきた点というのはあるのでしょうか。

平岡 グラフイーションや写真が入られるようになったのがコンピュータ処理ができるようになって変わってきた点があります。私が入った頃は機械など無く

すべて手作業でしたが、職人さんのところでも従来は手作業だったのを機械に置き換えたりしているところもあるようです。でも機械が入るようになって、「味」というものがなくなつてきたようにも感じています。手づくりの味の良さは守らなければなりません。同時にそれを認め評価して下さる方も多くあります。今でも

例えば北陸に大変素晴らしい刺編の職人さんがおられます。その方には、祇園祭の懸装品をはじめトップクラスの仕事が絶えることがありません。本当に素晴らしい技術です。

栗林 いろいろお聞きしてきましたが、今になって感じられる同志社の魅力とはどのようなものでしょうか。

平岡 私自身はクリスマンではないのですが善悪の判断を含め、知らず知らずのうちにキリスト教の教えがいろいろなことの判断

基準になつていくように思います。あとはやはり、良い友人に恵まれたことです。京都で仕事をしていると同志社出身の方が多くいます。同社社というだけで社会へ出てからも利害関係を越えたいと思つてくれるのはありがたいことです。

栗林 では最後に、学生時代にやっておくべきこと、在学生へのアドバイスなどをお願いします。

平岡 社会へ出れば、時間的なことも含めていろいろな制約が出てきます。学生時代は時間も充分にあるので、いろいろなさまざまな社会活動に参加することもできます。また、「学生さん」といふことで温かく受け入れてもらえる部分もあるでしょう。とくに京都ですと、「同志社です」と言つて、迎え入れてくれるところが多いと思います。ですからできるだけ多くの人と接して知人を作ることが大切です。例えばボランティア活動をするのも良いでしょう。お祭りに参加するのも良いでしょう。大人の人たちや他大学の人たちを含め、たくさんの人と触れ合い、いろいろなことを知ることが大事だと思います。社会に出ると、仕事上の損得とかどうしても利害関係で動いてしまいがちになります。学生時代のまだ心がヒヤなつちに、いろいろな人たちと知り合つておくことで、後で仕事の上でもプライベートでも肥やしになる部分が多くあります。とにかく学生時代にはたくさん思い出を作っておくことをおすすめします。

栗林 本日はお忙しい中、たくさんのお話を聞かせていただきありがとうございました。

INTERVIEWER



栗林 恵里菜さん

文学部文化学科国文学専攻4年次生

ゼミで江戸時代の芸能、芸術、演劇を研究。江戸時代の文学作品に描かれた小袖や紋、文様に興味を持ち、友禅染の職人と共に江戸時代の小袖を復元。三年次に文学部長賞を受賞。現在、蝶の文様に関する卒業論文に取り組んでいる。

旗づくりに込められた奥深さを知りました。

京都という土地で職人さんの技術を大切に、歴史と伝統を守りつづける企業姿勢からは、伝統文化への誇りと強い意志を感じました。メディアの主力が時代につれて変遷していく中、伝統を守りつつ新しい発想を生み出そうと試行錯誤されている姿勢は、歌舞伎などの伝統文化にも通じるものがあります。若い私たちが、伝統文化の良さを評価できる視点を持ちたいと思います。また、「いろいろな人と触れ合つて、人生の肥やしに」というメッセージは、卒業間近の私自身にとっても非常に共感できるものでした。

このシリーズは、毎号さまざまな分野で活躍する卒業生を訪ね、仕事に何を求め、仕事を通して何を考えてきたかを取材しています。級友の方々にとっては良き近況報告、学生諸君には将来のキャリア・プランと学生生活の現実を考える機会になれば幸いです。

あきらめずに目の前の山を越えた先に、必ず何か得るものがあるはず



私がジェイアール西日本伊勢丹に入社したのは、ジェイアール京都伊勢丹開業の1年半前のことでした。新しい百貨店がスタートするそのタイミングの中で普通では味わえない経験をしたという思いがあったのです。実を言うと、学生の頃は教師を志望し

様に伊勢丹ファンになっていただくためのシステムを作る仕事です。そして2005年4月、婦人靴部門に異動し、入社から10年目の昨年、現在のセールスマネージャーという職務に就きました。セールスマネージャーは売場の人とモノとお金のすべてを管理し、その責任を負う立場にあります。ですから、懐の深さと包容力が必要です。90名余りの販売員の声をボトム

アップの形で汲み上げ、マネジメントしていかねければなりません。お客様と直接接する販売員から私にお客様の声が届くことなくストレートに伝わってくるようにするには、何よりも私という人間がスタッフに信頼されなければなりません。お客様に

した。しかし私はとにかく目の前の山を越えようと考えたのです。あきらめてしまったりそこで自分の成長も終わらせてしまったり。あきらめずに山を越えれば、視野が広がったり、違う視点でものが見えたり、必ず得るものがあります。お客様のベストパートナーでありたい、京都で一番のサービスを提供したい。そのためにあきらめないで、何事も吸収しようという気持ちを持ち続けてきたからこそ、今の自分があるのだと思います。

学生時代を振り返ると、ユトサークルの活動に参加したりカナダへ短期留学したり、さまざまな人と交流して視野を広げたことが、今の力になっていると感じます。百貨店に就職したのも、学生時代に土産物屋でアルバイトをしたことがきっかけでした。店の展開を任ざられて商品の陳列を考えたりするうちにこんな仕事もおもしろいなと感じたのです。後輩の皆さんも、広く高くアンテナを張って、自分が何をやりたいか何をやれば楽しいかというところを見つけてほしいです。

ていました。3年次生の終わり頃になって真剣に自分が将来どうしていきたいかというのを考えた時、人とコミュニケーションを取ることでいろいろなことを学びたい、社会に出ていろいろなことを吸収したい、そう考えて一般企業の就職活動をするに至りました。入社後、開業までは東京の本社で経験を積み、1997年9月の開業から約7年は販売サービス部に所属しました。ハウスカード友の会など、お客

対しても売場の中でも信頼関係が大切です。そうなるために、日々自分が成長し続けなければと思っています。セールスマネージャーとして社員の育成・指導に関わっていくなかで、私が彼女たちと真摯に向かい合えば、彼女たちもそれに応えてくれる。新しい販売の提案と一緒に考え、実行して結果につながった時、とてもやりがいと幸せを感じます。いろいろなお客様と接するのが仕事ですから、辛いこともありますが、さまざまな壁も経験してきま

PROFILING



島田 五十鈴さん
 【1996年経済学部卒業】
 株式会社ジェイアール西日本伊勢丹
 ジェイアール京都伊勢丹
 婦人営業部 服飾雑貨営業担当
 婦人靴 セールスマネージャー

「自分の中で100%満足ということはないと思っています。次はこうしたい、こうしたいと良くならないと思いついてやってきました」と言って笑う島田さん。一度失敗したというセールスマネージャーの昇格試験も、そんな姿勢があったからこそパスできたのだろう。私生活では5年ほど前に結婚。子どもができてからも仕事は続けたい、と言う。「それができる会社ですし、女性が活躍できる職場でもありますから。」

私と「仕事」

仕事では、まだまだ駆け出し 日々、自分が成長していると信じたい



するという部署です。「自分の作りたい車を提案する」というわけではなく、マーケティングにしっかりと裏打ちされた時代の求めるものを導き出すのが私たちの仕事です。新製品であれば、車のコンセプトからターゲット、名前、値段、装備グレード構成まですべてを提案します。といっても、私は入社6年目で商品企画部の膨大な仕事の一部分しか担当していません。まだまだ知らないことが山のようにあります。学生時代に想像していた「働く」というイメージより、実際にはるかに「厳しい」と痛感しています。求められる質や量、成果など非常にハードで責任も増していきます。さらに次のステージへ自分のスキルを引き上げていかなければならない時期にきていると感じています。

当社は、団塊世代が退職によって小さな車に乗り換えるという時代背景も

もともと車が好きだったのでそれが自分を仕事にすることは思っていました。しかし就職活動を始めたらいろいろな企業の説明を聞く中で自動車メーカーは、おもしろそうだと感じたのです。日本の主要産業でありさらに環境意識が高まる今の時代に、タイパのように小さい車を作る企業に将来性を感じました。

私の所属する商品企画部は、時代背景や、消費者のニーズを細かく分析し、求められている車を提案

追い風となって業績を伸ばしていますが自動車メーカーにとって今は大変厳しい時代です。高級車に憧れてそのために働くという時代は終わり、価値観の多様化で車にあまり興味がなくなっている若者も増えていきます。また環境にやさしい車を開発することも自動車メーカーの命題です。この時代にこそ求められる車、なおかつ作り手の想いを感じられる車、難しいですがいつかそんな車をつくりたいという情熱を持ち続けています。

P R O F I L E



福本 英之さん

【2002年文学部文化学科
文化史学専攻卒業】
ダイハツ工業株式会社 商品企画部

就職難の時代に留年したので、就職はかなり厳しいと予想していたという福本さん。資料請求したのは200社以上、50社以上の入社試験を受ける。ダイハツの面接時に「商品企画がしたい」と訴えて、配属がかった。今は「毎日がハードで仕事をこなすのが精一杯」と言いつつも、「自分が携わっていることが形になり社会に出ていく、それは仕事でない味わえないやりがいですね」と笑う。

今思えば、学生時代に歴史の勉強をしていた時、本を読むだけではダメ、実際にその場所に行ったり、本物に触れたりするよう言われました。これは今の仕事にも言えることで、実際に車が使われている現場に行くとどのように乗られているかを見る。そこで車に対して「ユーザーが何を求めているか」を聞く。海外生産車の場合、どんな路面で、どんな人にとどのように使われているかを現地へ調査に出かけます。そして「ユーザーを集めて話を聞いたり、デモカーを回って調査すると、日本で想像していたとは全く違う答えが出ることもあるのです。ネットワークを軽くして、現地現物」を見る大切さを、働いてもう一度実感しました。私が後輩にアドバイスするときは、就職のためだけではなくいろいろな場所に行ってみるといいことです。流行の入り口でもいいし、興味のある場所でもいいので、その「見えて何かを感じる」ことがとても大切だと思います。

C E M E N T

京田辺校地 ハローホール

- 12月8日(土)とんがりぼうし「1回生コンサート」12:30~
12月14日(金)アンシェヌマン「ダンスイベント」12:30~
12月15日(土)F.S.S.「ライブ」時間未定
12月21日(金)The Amplugged「12月ライブ」時間未定
12月22日(土)The Amplugged「12月ライブ」時間未定

学外

- 12月1日(土)学生混声合唱団C.C.D.「第55回定期演奏会」17:30~
長岡京記念文化会館
(京急京都線「長岡天神」駅より西へ徒歩6分)
12月8日(土)応援団吹奏楽部「第38回定期演奏会」18:00~
八幡市文化センター
(京阪「八幡」駅より徒歩15分、同駅より無料送迎バス有り)
12月15日(土)グリークラブ「第103回定期演奏会」17:30~
京都コンサートホール
(地下鉄「北山」駅 番出口南へ徒歩2分)
12月22・23日(土・日)書道部「連盟展」(同志社・同志社女子)
10:00~18:00
建任寺西来院(大和大路通松原上ル東)

同志社京田辺クリスマス燭火讃美礼拝

クリスマスはキリストの誕生を記念し、すべての人々が愛と信頼によって結ばれる未来を待ち望む祝祭です。キリストの希望を象徴するキャンドルライトの光のもと、共にクリスマスの礼拝を捧げましょう。
【日時】12月8日(土) 開場16:00 / 開演16:30(18:00終了予定)
入場無料(来聴歓迎)
【会場】京田辺校地 同志社新島記念講堂(女子大学構内)
【お問い合わせ先】京田辺校地キリスト教文化センター TEL:0774-65-7370

同志社クリスマスキャンドルライトサービス

キャンドルの光のもと、皆さんでひとつになって、イエス・キリストの誕生をお祝いしましょう。
【日時】12月22日(土) 開場17:30 / 開式18:00 入場無料(来聴歓迎)
【会場】今出川校地 同志社栄光館(女子大学・女子中高構内)
【主催】同志社クリスマスキャンドルライトサービス実行委員会
<http://cls.ifdef.jp/>
【後援】同志社中学・高校・女子中高・国際中高・香里中高 宗教部
同志社大学キリスト教文化センター・同志社女子大学宗教部
【お問い合わせ先】同志社女子大学 宗教部 TEL:075-251-4141

第43回全同志社メサイア演奏会

キリストの降誕・受難・復活を讃えるヘンデルの大作「メサイア」は、キリスト教の精神を徳育の基本に据えた本学の学風の中で長年にわたり、学生、教職員、卒業生また地域の人々に愛されてきました。出演者一同、皆さんが素晴らしいクリスマスを過ごせるよう心を込めて歌いますので、ぜひご来場ください。
【日時】2007年12月24日(月)
開場17:00 / 開演18:00(当日16:30より座席券交換)
【会場】京都コンサートホール大ホール
【料金】S席2,000円 / A席1,000円(全席当日指定)
【指揮】山下 一史
【合唱】同志社メサイアコーア メサイアシンガーズ 同志社グリークラブ
【オーケストラ】同志社交響楽団
【主催】全同志社メサイア演奏会実行委員会
【お問い合わせ先】全同志社メサイア実行委員会 TEL:090-4289-5795

人形劇がやってきた! Vol.4

らせんくらぶによる人形劇の公演と、紙芝居作りのワークショップ。
【日程】12月25日(火)公演14:00~ / ワークショップ16:00~
【会場】クローバーホール(今出川校地寒梅館B1F)
【料金】各500円(ワークショップは要申込・先着20名)
【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

京町家を拠点にした異世代協同プロジェクト

大学と学生が町家を借り、地域と運動しながら活動と生活を行います。大学と学生とが運営する町家では、「子ども」「学生」「大人」「高齢者」が入り出し、世代混合のサークル活動や議論の場が開かれていきます。

平成19年度新設の「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」に同志社大学の学生支援プロジェクトが採択されました。異世代との関わりの中で活動を行うことによって、学生のライフスキルを高めていくことを期待するものです。

12月からプレ企画として、クリスマスやお正月などの季節行事にちなんだ楽しい企画を考えています。今後の開催企画に関して、大学HPや学内掲示板他でお知らせします。

<http://www.doshisha.ac.jp/students/support2/kagai/project/>

町家ができるまでのプレ企画 参加対象:小学生
【日時】12月1日(土)町家を飾る大きなクリスマスリースを作ろう
12月15日(土)いも版画で年賀状を作ろう
1月19日(土)消しゴムはんこを作ろう
【会場】寒梅館リーディングスペース(寒梅館1F)
(町家改修中のため寒梅館で開催)
【時間】10:00~12:00
【参加希望者受付方法】氏名・学校名・学年・電話番号・参加希望日を明記の上、電話、FAX、窓口(先着順)などでお申込みください。小学生対象、定員各20名、参加費一部材料費負担あり。
【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課
TEL:075-251-3270 FAX:075-251-3099

町家での活動を支えてくれる学生スタッフを募集
学生の皆さんがお兄さんお姉さんとなって子どもたちと一緒に遊んだり、時には先生となったりして、大学を飛び出し、町家を拠点とした異世代交流をしていきます。地域の人たちと季節の行事を楽しんだり、町家での生活を体験したり、活動を新聞や映像にしたり、学生の皆さんが企画、演出、実行していくプロジェクトです。
【登録方法】今出川校地学生支援課(寒梅館1F)にて登録
9:00~17:00(11:30~12:30は除く)
【募集対象】同志社大学学部生(大学院生も参加可能)

第4回同志社大学ビジネスプランコンテスト開催

「こんなサービス・商品があったらいいな」というアイデアをオリジナルのビジネスプランに練り上げ、予選を通過した6チームが競います。
【日時】12月15日(土)13:00~16:30
【場所】今出川校地 尋真館20番教室
【主催】同志社大学、リエゾンオフィス、同志社ベンチャートレイン
【協賛】(株)南都銀行、(株)池田銀行、同志社校友会大阪支部産官学部会(LCC)
【お申し込み・お問い合わせ先】
リエゾンオフィス TEL:0774-65-6223
<http://liaison.doshisha.ac.jp/venture/vb2.html>

同志社大学カウンセリングセンター 開設50周年記念シンポジウム

【統一テーマ】多様化する学生相談 特徴ある取り組みの現場から
 【日時】12月15日(土)13:30~17:00
 【場所】神学館チャペル
 【基調講演】樋口和彦 京都文教大学学長
 【シンポジスト】
 ・吉武清實 東北大学高等教育開発推進センター教授
 ・山中淑江 立教大学学生相談所カウンセラー
 ・畠山朝子 上智大学学生局カウンセリングセンターカウンセラー
 ・弥源治弘子 同志社大学今出川校地
 カウンセリングセンターカウンセラー
 【司会】佐藤豪 同志社大学文学部心理学科教授
 【料金】無料
 【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課学生相談係
 TEL:075-251-3275



障がい学生支援制度サポートスタッフ大募集!

同じキャンパスで学ぶ障がい学生(challenged)のサポートスタッフを募集しています。初めての人でもできることはたくさんありますので、ぜひスタッフに登録してパソコン通訳、ガイドヘルプなどのスタッフとして活動してください!各種講習会も開催していますので、興味のある方は学生支援課まで連絡ください。時給は一律880円です。

支援活動の内容

【聴覚障がい学生の支援】ノートテイク、パソコン通訳、手話通訳、ビデオ字幕付け、ビデオ文字起こしなど
 【視覚障がい学生の支援】講義資料、試験問題の点訳、電子データ化、拡大コピー、対面朗読、代筆、代読、ガイドヘルプなど
 【肢体不自由学生の支援】代筆、車椅子介助、トイレ介助、食事介助など
 【お申し込み・お問い合わせ先】
 京田辺校地学生支援課 TEL:0774-65-7410
 今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270

ランチタイム手話勉強会への参加者募集!

毎週火・金のランチタイム(12:30~13:00)には京田辺校地学生支援課(嗣業館1階)で、月・水には今出川校地寒梅館1階BOX-Dで、お弁当を食べながら楽しく手話を学んでいます。飛び入り参加も大歓迎ですので、気軽にのぞいてみてください。12月はクリスマス行事(キャンドルサービス等)の手話を勉強します。今年は手話でいつもと違った聖夜を過ごしてみませんか!



クローバーシアター

開講期間中の毎週火曜日、寒梅館のミニシアター・クローバーホールで、映画史に残る名作の数々を特集上映します。
 【日程】12月4・11・18日(火)
 【会場】クローバーホール(今出川校地寒梅館B1F) 【入場無料】
 12月4日(火) ネパールのアート・ドキュメンタリー特別上映
 16:45~『Pahenlo』作家によるトークも予定
 12月11日(火)16:45~『旅芸人の記録』
 12月18日(火)16:45~『シテール島への船出』
 19:10~シネマトーク 伊東 恵司氏(今出川校地学生支援課)
 【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課 TEL:075-251-3270



WOT(ワット)=What's on Thursdays!

“What's on Thursdays!”=「木曜日には何かがある!」を合言葉に、開講期間中の毎週木曜日に寒梅館ハーディーホールで、映画上映を中心に多彩なイベントを開催します。
 【日程】12月6・13・20日(木)
 【会場】ハーディーホール(今出川校地寒梅館)

cinema & lecture

12月6日(木)《人権月間 講演のつどい》講師:原田伸郎さん
 14:30開場 / 15:00開演(16:30終演)【入場無料】
 「つながりと感動~ありのままに生きようとしたありはありのまま~」
 テレビでもおなじみ原田伸郎さんによる歌や朗読を交えた講演
 主催:上京区役所
 12月13日(木)映画『新・あつい壁』
 10:30~/13:30~/16:00~/18:30~
 監督:中山節夫 出演:趙珉和、安藤一夫、ケーシー高峰
 12月20日(木)新作試写会『母べえ』
 18:00開場 / 18:30開映【要整理券】
 監督:山田洋次 出演:吉永小百合、浅野忠信
 試写会の入場整理券は、本学学生・教職員を対象に配付します。
 詳細は、本学HPや学内掲示板他でお知らせします。
 【お問い合わせ先】今出川校地学生支援課
 TEL:075-251-3270

観に行こう聴きに行こう-学生団体12~3月の活動予定-

今出川校地 寒梅館

・ハーディーホール
 12月1日(土)雅楽会「第14回定期演奏会」
 12月9日(日)軽音楽部「定期演奏会」
 12月15日(土)リーダー克蘭ツ「創立74周年年度定期演奏会」
 12月16日(日)コールフレューゲル「第41回定期演奏会」18:00~
 12月22日(土)応援団「アトムフェスティバル2007」17:30~
 12月24日(月)混声合唱団こまくさ「第38回定期演奏会」14:00~
 12月26日(水)ゴスペルクワイヤー Joyful-Joyful
 「ウィンターコンサート」18:00~
 2月3日(日)グリークラブ「京都学生合唱団大感謝祭」15:00~
 2月23日(土)グリークラブ「フェアウェルコンサート」17:00~
 ・クローバーホール
 12月7日(金)Fantome du Reve
 「クリスマス・キャロル・コンサート」18:00~
 12月9日(日)One voices「ラストライブ」11:00~
 1月20日(日)ギタークラブ「フラメンコショー(仮)」
 3月16日(日)【予定】ギタークラブ「フェアウェルコンサート」

今出川校地 明德館

12月5日(水)学生保健部会「献血」10:00~15:45

今出川校地 礼拝堂(チャペル)

2月23日(土)リーダー克蘭ツ「アプライゼコンツェルト」

今出川校地 新町別館小ホール

12月7日(金)~9日(日)同志社小劇場 新人公演「サド侯爵婦人」
 12月14日(金)~16日(日)演劇集団Q「(新人公演)」
 1日目 18:00~ 2日目 14:00~/18:00~ 3日目 14:00~

My Purpose

挑戦する人



平成19年新司法試験合格 ～同志社大学法科大学院法学未修者の挑戦～

私は同志社大学法学部を卒業後、同志社大学法科大学院に法学未修者として入学しました。あえて未修を選んだ理由は、もう一度きちんと基礎から法律の勉強をしたかったからです。法学既修者(2年で修了)は入学当初から演習に入りますが、法学未修者(3年で修了)は最初の1年目は講義が中心で、本格的な演習が始まるのは2年目からです。未修1年目の授業は、学部と違って受講生が50人程度と少ないうえに、先生が学生に質問を投げかけて進めていくという形式が多いのです。さらに、民法、憲法、刑法、刑事訴訟法、民事訴訟法、商法、行政法の7科目をすべて最初の1年間で勉強することになります。学部で4年間かけて勉強することを1年でやるわけですから、法律を学んだ経験のない人にはかなりハードかもしれません。

実際、同志社大学法科大学院の法学未修者には、私のように法学部を卒業した人もいますが、元銀行員、元公務員といった社会人の経験者も多く在籍していました。今回の第2回新司法試験における同志社大学法科大学院の合格者も、未修者の合格率が高いという結果が出ていますが、やはり実感として、社会人を経験してモチベーションの高い人が多かったように思います。私自身そうした人たちの頑張る姿に触発されましたし、一緒に勉強できたからこそ合格できたのだという気がしています。30代の働き盛りの人が仕事を辞めて入学してきていたりしますから、真剣さがまるで違います。そんな

人たちは学力もすごく伸びるのです。私は法学部出身なので1年目は少し余裕があったのですが、周りの皆さんも大変勉強されますから、あつあつという間に追いつかれ、非常に刺激を受けました。司法試験を目指すには、強い意志と覚悟が必要だと思っています。

法科大学院では、基礎を何度も確認しながら進めていく先生方が多く、また、全員が指名を受けて発言しますから、学部の授業とは雰囲気異なります。勉強量自体もすごく増えましたし、考え方を聞かれることが多くなつて、思考プロセスが鍛えられました。司法試験ではどう考えたかということが重要視されるのですが、授業の中で考え方の矛盾点を指摘されたりしたことで実力がついたのだと思います。授業のテーマに合わせて、学生同士で小規模のゼミも行っていました。判例を素材とする演習が多かったのですが、判例を読んでただ知識を蓄えるだけでなく、蓄えた知識を活用する練習を自主的に行っていく。考え方の訓練をしていくことが大事なのです。その意味でも、法科大学院で勉強できたことに大きな意義があったと感じています。

Profile



児玉 絵美さん

(2004年法学部法律学科卒業、
2007年3月司法研究科修了)

第2回新司法試験の結果が9月に発表され、本学法科大学院の合格者は57名、全国第9位だった。今回の試験は、法学未修者が初めて受験する年であり、法科大学院の真の実力は未修者コースに現れるとまで言われ、その結果が目玉されていた。本学の法学未修者は17名が合格し、法学未修者の合格率(45.95%)は、東京大学に次ぐ8位だった。